

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	前頭葉半球間裂発作焦点の検出診断能における発作時脳波、発作症候、脳画像の比較
研究責任者	榎 日出夫
研究実施体制	聖隷浜松病院 臨床検査部 西村 光代、てんかんセンター 榎 日出夫、岡西 徹、藤本 礼尚、筑波大学附属病院脳神経外科 増田 洋亮
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2023年 3月 31日
対象者	聖隷浜松病院小児神経科またはてんかん科に入院し、長時間ビデオ脳波検査を実施し、頭蓋内電極を留置したてんかん患者 130例
研究の意義・目的	発作時の脳波、発作時の眼球偏位、画像所見からどの情報が前頭葉半球間裂の発作焦点を有意に示唆するかを解明し、患者の発作軽減または消失、予後の改善に役立てる
研究の方法	後方視観察研究 保存した頭蓋内長時間脳波データを解析して発作焦点部位が前頭葉半球間裂である患者を収集し、これら患者の頭皮の長時間脳波データとビデオから、発作時の脳波パターンと発作症候を解析する。画像所見については、電子カルテより抽出する。 発作時の脳波とビデオは SATA3 に保存し、脳波解析室の施錠された引き出しに入っている。または脳神経ネットワークのサーバーに保存されているデータを用いる。 これらのデータを用い、発作焦点と脳波、発作症候、画像所見との関係を見る。 データ解析は脳波解析端末または電子カルテ端末で、集計は電子カルテ端末にて行う。 解析端末は施錠された脳波解析室に設置されている。統計解析する時のみ、統計解析専用のパソコンを用いる。このパソコンは普段は施錠された棚に入っている。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 てんかんセンター 榎 日出夫 TEL:053-474-2222(代表) てんかんセンター外来 9:00~17:00 平日